

「あつてよかった

ちあき」を目指して

社会福祉法人 尾張健友福祉会

新理事長 立花 弘美さん

医療法人尾張健友会

から、2010年に
特別養護老人ホーム・

ちあきの開設準備時に
尾張健友福祉会へ異
動。施設長、常務理事
を務め、今年、佐野正
純前福祉会理事長の後
任に就任しました。
「理事長は法人を代表
する立場なので重責を
感じています」とい

ます。尾張健友福祉会
が目指す姿として「さ
まざまな人がいて人
には普遍的な価値があ
り、私たちは高齢者の
分野を担いますが、利
用者さん、職員などす
べての人が人間的であ
ることに最高の価値を
置きたいと思っています。
グループ理念『あつて
よかったちあき』とサ
ービスを提供する職員
が近づけるよう、つな
げるものを皆で考え、
実践していきたい」と

述べてました。赴任時に
最初に手掛けたのが、
画一化された職員の制
服をカタログから自由
に選べるように変えた
ことと振り返ります。
日頃から感性を磨く
ことを意識し、「感性
は自ずと生まないもの
なので、美術館や窯元
巡りなど文化的なもの
に触れるようにしてい
ます。毎朝日替わりの
カップでコーヒーを楽
しんでいます」と話し
ます。